

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名または 間接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に 係る整備、維 持補修又は維 持運営等措置	枉葉尾町地先水路改修工事	東近江市	5,193,720	4,400,000	

（備考） 事業が2つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	杠葉尾町地先用水路改修工事	
交付金事業者名または間接交付金事業者名		東近江市	
交付金事業実施場所	東近江市杠葉尾町地先		
交付金事業の概要	<p>事業実施場所である杠葉尾地区では、昭和63年度から用水路の改修工事を順次進めているところ、今回の改修予定箇所は、用水路に水を運ぶ導水路的な役割を持ち、機能保全を図る上で重要な水路であるが、経年による老朽化が進み、ひび割れ部分からの漏水が著しく、用水確保に支障を来す状況であることから、杠葉尾地区における必要な灌漑用水の確保を図るため、本交付金を充当するものである。</p> <p>U字溝据付工 施工延長L=130.7m</p>		
交付金事業に関する県または市町村の主要政策・施策とその目標	<p>東近江市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年～平成31年）            第3章 基本目標の実現に向けた具体的な取組            1 働き住み続けたい活力ある東近江市の創生            ～安定した雇用を創出する～            （4）第1次産業の再生と高付加価値化の推進            担い手の高齢化や販売価格の低迷等から第1次産業の就業者数が減少していますが、農地の集積や大区画化・汎用化、林地の中長期的な整備等により、競争力を強化するとともに、新規商品の開発、6次産業化の推進や水田野菜の作付、果樹等の特産化の推進等により、高付加価値化、経営の多角化等を促進します。</p> <p>ウ 農業生産基盤の整備            ・ 農業の生産効率性を高めるため、担い手への農地の集約化を進めるとともに、生産基盤の整備や施設の適切な管理・更新、農業設備導入の支援等を行う。</p> <p>目標：認定新規就農者数 累計25人</p>		
事業開始年度	昭和63年度	事業終了（予定）年度	平成31年度
事業期間の設定理由	用水路の現状及び東近江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期限から設定		

交付金事業の成果目標および成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 平成31年度		
	用水路改修率 100%	改修延長÷全用水路延長×100	成果実績	%			
			目標値	%	100		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	複数年度にまたがって改修を行うため。						
	交付金事業の定性的な成果および評価等						
全用水路実延長が1,597m、平成30年度事業完了時点で改修工事済みの実延長は1,137.8mであり、71.2%が実施済みとなった。また、改修工事を実施したことにより、杠葉尾地区における必要な灌漑用水の確保が図れ、地域住民の日常生活機能の向上が図れた。次年度に向けた改善として、用水量の需要と施行方法を精査し、未改修の用水路延長の全てをカバーできるよう単位コストあたりの改修距離の増加を図ることで、更なる農業生産基盤の整備と交付金事業の成果目標の達成に繋げる。							
評価にかかる第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標および活動実績	活動指標			単位	平成23年度	平成29年度	平成30年度
	漏水箇所の点検及び改修を行った用水路の延長(m)		活動実績	m	140	268.1	130.7
			活動見込	m	140	268.1	130.7
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	平成23年度	平成29年度	平成30年度	備考			
総事業費	4,037,250	4,514,400	5,193,720				
交付金充当額	4,037,250	4,400,000	4,400,000				
うち文部科学省分	0	0	0				
うち経済産業省分	4,037,250	4,400,000	4,400,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
用水路工事		指名競争入札		有限会社 吉健建設		5,193,720	
交付金事業の担当課室		総務課					
交付金事業の評価課室		総務課					